



# 若 蛙

わか が える



第32号  
(平成17年秋号)

発行所  
高齢者総合福祉施設  
ウィローふたば  
広報委員会

瀬戸市西山町1丁目46の18  
TEL0561-87-4128(代)  
FAX0561-87-4129



# 2005 納涼祭



八月二十日、午前中に降った雨が心配されましたが、午後より次第に晴れ間に変わり、納涼祭の準備が進められました。日が暮れ、利用者の皆さんも待ち遠しい表情へと変わっていきます。金魚すくいや風船つり・手作り屋台は繁盛し、多くの利用者さんのにぎやかな声が聞こえてきました。外では盆踊りが行われ、美人司会者の浴衣姿が夏を感じさせます。また、町内の方々と共に親しく交流を深め過ごすことができました。皆さん様々な方たちで楽しまれたようです。

来年度は、更に皆様に日本の夏を感じていただけるような楽しい納涼祭を考えております。期待して下さい。



# 特養だより



八月の終わりの星が輝く夜、風もなく心地よい夏の終わりを感ぜさせるような日に、特養とシヨートが合同で花火大会を行いました。初めのうちは少し怖がっている利用者の方もみえましたが、時間が経つにつれ、笑顔が多く見られるようになり、実際に花火を持ってみたい、「綺麗だね」と言いながら眺めてみえたりして楽しく過ごされていました。

新しい試みの花火大会だったので、職員には少し不安もありましたが、無事楽しく行う事ができ、また来年もできたらいいなと思いました。



八月二〇日、3階ロビーにてカラオケを行いました。「草津節」や「川の流れるように」を歌われ、皆さんマイクが回ってくるに恥ずかしがりながらも口ずさんでみえました。懐かしい曲を歌われ、皆さんとても歌が上手で大きな歓声や拍手が聞こえてきました。最高の笑顔がみられとても楽しそうでした。

今後も皆さんに楽しんで頂けるようなレクリエーションを提供できるよう努めていきます。



主任の村井さんは「入所者の方々が快適に過ごしていただける様に、皆でこれからも頑張っ参りますので宜しくお願ひ致します」と意気込みを話されます。5名の瀬戸ビル職員さんは、今日も夜遅くまでふたばを支えて下さっています。

特養・ケアハウスの食堂から廊下の隅々まで、各居室の清潔を保ち、「清掃」でふたばを支えて下さっているのが、瀬戸ビルクリーナーの皆さんです。





# デイサービスだより

## 喫茶店ツアー



六月六日から一週間、喫茶店ツアーを行いました。

今回は日本造りで、店内も昔を懐かしむ物が飾られている、甘味をメインとしているお店を選びました。やはり甘味処なので、クリームゼンざいが一番人気でした。皆様美味しく召し上がっておられました。

帰りは、愛・地球博まで足を延ばし、外からでしたが、企業パビリオンなど眺めていたたく事が出来、偶然通ったリニモに感激された方もいらっしゃいました。きつと心に残る思い出の一ページとなったことでしょう。

## 壁かざり



愛・地球博の開催を記念して、創作レクリエーションでマスコットのモリゾー・キッコロの壁画を作りました。はじめに、利用者さんにこのマスコットの説明をしました。モリゾーは森のおじいちゃん。キッコロは森のこども。二人は瀬戸市の海上の森に住む森の精です。次に体のボンボン作りから始めました。たくさんのおボンボンを利用者さんも職員も一生懸命作りました。背景は季節ごとに模様替えし、ふたばでの万博を楽しんでいます。



「来年もやってみよう！」とお声を頂きましたので、来年もパワーアップしてやりますよー！

八月に入り、各地で祭りの声が聞こえるようになった頃、デイサービスでも恒例の夏祭りを行いました。

## 夏まつり

「ヨーヨー釣り」「金魚すくい」「おやつ屋台」などをそれぞれ巡っていただき、最後はボランティアさん、利用者の皆様、職員が輪になってホールが盆踊り大会に早変わり。必死に釣る方、食べる方、手つきもパッチリ踊る方など、皆様の意外な一面も垣間見えたひとときでした。「また来年もやってみよう！」とお声を頂きましたので、来年もパワーアップしてやりますよー！



## ケアハウス・シルバーハウジングだより

## 麻雀ブーム

今ケアハウスでのマイブームは、「麻雀」です。

午後のひととき、ケアハウスの一角で麻雀卓を囲み、皆さん和気あいあいと、頭の体操をかねてゲームを楽しんでいます。最近はずい分実力アップし、白熱しています。



## スイカ割り

ケアハウスの皆さんも納涼祭を楽しみました。特に毎年恒例の「スイカ割り」では、見事な竹刀さばきでスイカを真つ二つに。西山町内の子供たちとおいしくお楽しみしました。



## 介護支援センターだより

## 介護予防教室

ふたば在宅介護支援センターでは、定期的に効範連区内の公民館などをお借りして介護予防教室を開催しております。地域の先生方を講師にお招きし、毎回趣向を凝らした楽しい教室と大変好評です。

介護予防教室と聞くと堅苦しいイメージかもしれませんが、二〇名前後の参加者の皆さんが和気あいあいにぎやかに参加されています。



▲「転倒骨折予防教室」

今後も地域の皆さんのお役に立てますよう、様々な介護予防教室を開催して行きたいと考えていますので、興味を持たれた効範連区にお住まいの六五歳以上の方は、お気軽にふたば在宅介護支援センターまでお問い合わせ下さい。

☎(87)4130



▲「足指爪ケアの教室」



## 訪問看護ステーションだより

訪問を依頼される患者さんも増えてきました。重症じゃなくてもいいのですよ。たとえば、手足の運動してほしい、血圧を測って、薬がいつばいで整理に困り飲み方を教えてほしい、風呂に入るのを手伝ってほしい、床ずれができやすい、など日常のささいなことでもいいのです。皆さん気軽に訪問看護を利用してくださいね。



## ナースからの健康アドバイス



快眠、快食、快便を合言葉に、入れるよりも出す方を意識してみましょう。タラタラ出る尿か、スッキリ出るか、バナナ一本分の便がでているか。こんな風に自分の身体をチェックしてみるのもいいかもしれません。夏に冷たい物を取りすぎていたりすると、涼しくなる時期、身体が何となく不調だったり・・・温かい消化の良い物や近頃流行のフットパスなどもいいですよ。

ウイローふたば  
ソーシャル・サービス部門

ウイローふたばでは今年度よりSS部門と称し、新たにソーシャル・サービス部門を結成いたしました。

これは、高齢者総合福祉施設である当施設における、これまで培ってきた介護などの技術や知識を広く地域の皆様に還元できればとの想いで始まりました。

活動としては、地域社会福祉事業において、公民館などで、「介護」や「認知症」、あるいは「育児」について講演を行ったり、「瀬戸の思い出」と題し古き良き時代を、スライド上映したりします。

今後も広く地域の皆様の介護や育児を応援するために、講演内容もさらに充実させ、職員もボランティアで頑張っ

てまいりますので、ご期待下さい。機会があればぜひご参加ください。

ソファアー  
ありませんか？

「ご自宅にある使用しないソファ・腰掛けがございましたら、ぜひご寄付下さい。その際はご自宅まで取りにお伺いします。

電話 (87) 4128

担当 特別養護老人ホーム  
加藤みちよし





## ヘルパーだより

## 有意義な交流会

支援費が導入され2年目となりました。

高齢者が主体のふたばヘルパーセッションですが、「障害者(児)との理解を深める」という目的で交流会を兼ねて情報意見交換会を行いました。

## 《お母さん方より》

親子で貴重な体験をさせていただきありがとうございます。障害を個性ととらえ、どの子も地域の中で楽しく生活していけるよう願っています。これからも暖かく見守って下さる様お願い致します。参加してとても良かったです。

## 《ヘルパーより》

初めは緊張しましたが関わっていく中でみんなの個性が理解できたような気がしました。また、皆さん笑顔で受け

入れてくださり、とても楽しい時間が過ごせました。今後は交流会で得た事を地域に発信していく役割を担い、また、ヘルパーとしても援助という立場で理解を深めていきたいと思えます。



▲まー君と三人仲良く行進



▲かっちゃんと一緒にイス取りゲーム

## さくらの会

6月19日 日曜日

「さくらの会」親子6名(小中学生)の皆さんに参加していただき、10時30分に集合・自己紹介・ゲーム・食事、その後はテーマを設定し、おかあさん方とヘルパーで話し合いをしました。



▲もっくんお弁当を目の前にいただきます



▲けんた君食事の前のひとときハイポーズ!



▲とおる君とスマイルでハイ・ラブピース



▲ひろくんと支援援助ヘルパーさん食事の密談



## ふたばだより

## \*ふたば保育園

『8月。』

## 誕生会

八月の誕生会のお楽しみは保育者による出し物です。

「こぶとりじいさん」のねずみやおじいさんに扮して保育者が登場すると3歳以上児は興味津々で舞台上身を乗り出すように見入っていました。3歳未満児は保育者の顔が誰か良く判るように且つ担任が扮していたにも拘らず、特に欲張り爺さんの登場の時には、後ずさりする子や我慢しきれず泣き出す子も、それにつられて泣き声があちらこちらからという場面もありました。そんな子たちも「手のひらを太陽に」という曲の体操になると役に扮した格好でも恐がることなく、いつの間にか笑顔に変わっていました。



## \*ふたば園

## お食事会

ふたば園では毎年、夏休み前に、夏バテ対策も兼ねてお食事会を行なっています。春日井市にある、食べ放題のお店に行ってきました。どの利用者さんも食欲旺盛で、頬が大きく膨らんでいました。さすが、好きな食べ物には目がないようです。

「美味しいね。」「お腹いっぱいになったよ。」「まだ食べたいものがあるよ。」ほほえましい会話が、利用者さんと職員の間で交わされていました。とても楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

十月には、年間行事で一番メインの宿泊研修に出かけます。次号には詳しくお知らせ出来ると思います。ご期待ください。



## \*ふたば作業所

## 大きな人形

せともの祭りで販売した商品の紹介をします。この作品のオリジナル作者は、利用者の尾関君です。祭りで見目を引くように職員が大きく作ってみました。しかし何だか様子が違うのです。やはり彼の感性は他の人では表現しきれないのですね。(写真1)

もう一点は2006年版の雛人形です。屏風兼用竹筒状の器の中にかわいいお雛様。沢山の方に楽しんでいただけると幸いです。(写真2)

(写真1) 有泉まで、お待ちしています。





## ワイローふたばを支えて

## 下さっている方々

多くの方々ボランティア活動によるご協力をいただき誠にありがとうございます。紙面をかりて厚く御礼申し上げます。今後ともよろしくお願いたします。

ボランティアのみなさん

(敬称略) H17年6月1日

H17年8月31日

## 《団体・グループ》

根っこ、理容室ポネル、叶流福ちゃん会、あゆみの会、效範町婦人会、ステージひめ、ハロハロ、ほほえみの会、ひまわりコーラス、喜久香会、藤本流美里会

## 《個人》

佐久間綾子、相馬朋子

## 《学校》

聖カピタニオ女子高等学校、聖霊高等学校、旭野高等学校、瀬戸高等学校、瀬戸西高等学校、

長久手高等学校、豊田大谷高等学校、南山中学校、水無瀬中学校、瀬戸北高等学校、高藏寺高等学校、愛知工業大学、愛知総合看護福祉専門学校、東海福祉総合専門学校、日本福祉大学中央福祉専門学校、名古屋福祉・服飾専門学校、日本福祉大学、中部学院大学、あいち福祉医療専門学校、健康科学大学、中京大学、東京福祉大学、名古屋福祉保育柔整専門学校、名古屋保育・福祉専門学校

## 第6回

## ボリソング大会

本年も、七月十二日と十四日の二日間にわたり、施設長杯ボリソング大会が開催されました。参加職員は皆、個人賞獲得を目指して熱戦を繰りひろげました。

優勝 太田直子さん

二位 山口健一さん

三位 浜本 緑さん

## お世話に

## なりました

八月で、結婚退職することになりました。

六年間という長い間、ふたばでお世話になり、多くのことを学ばせていただきました。一番感謝していることは、人との出会いです。これからも、笑顔と思いやりの気持ちを大切に、新しい生活を始めたいと思います。ありがとうございます。

デイサービス介護員

松原三希子



## 新人紹介

何もかもが初めての事ばかりで、戸惑いの毎日ですが、日々勉強と思いつつ頑張ろうと思えます。宜しくお願いします。

特別養護老人ホーム機能訓練指導員

斉藤明子



## 編集後記

愛・地球博も終わり、心地よい季節がやってきました。

「秋」といえば、お月見。夜空に浮かんだお月さまを見ると心が安らぎます。皆さんも暗れた夜、月を見上げてみて下さいね。